講演会ご案内

気候変動と社会

～科学知識のよりよいコミュニケーションのために～

（英日同時通訳付・入場無料・定員120名先着順）

日時: 2011 年 4月8日（金） 午後4:00～午後5:30（開場 午後3時半）

会場: 名古屋大学 環境総合館 レクチャーホール
www.urban.env.nagoya-u.ac.jp/accessmap/kankyokan.htm

講師: エリック・コンウェイ氏 カリフォルニア工科大学 科学史研究家

司会: 神沢 博 氏 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授

主催：名古屋アメリカンセンター
共催：名古屋大学グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」
Information in English: http://nagoya.usconsulate.gov/wwwhn-inv_Conway.html

科学情報に疑いや反論はつきもの、とは言え、それが科学的反証に基づくまっとうな議論ではなく、特定の利益集団と結託した理不尽な懐疑派による議論の引き延ばしであったとしたらどうでしょう。 コンウェイ氏はその著書の中で、実際に米国でごく一部の科学者が、企業的、政治的利益のために「地球温暖化は人類のせいではないかも知れない」といった「疑い」を捏造して一般市民の温暖化に対する印象を操作し、結果として政府の温暖化対策が遅れるなどの悪影響を与えた過程を検証しています。
科学情報が社会に正しく伝わり、正当な議論が行なわれるために、科学者、一般市民がそれぞれの立場で留意することは何でしょうか。気候変動を例に考えます。

****

講師略歴 Dr. Erik Conway

20 世紀のアメリカ科学技術史が専門分野。政治、科学、技術革新の相互作用について焦点をあて、超音速交通、大気・気候科学、火星ロボット探査などの歴史を研究。2008 年、2009 年には宇宙開発史研究の業績に対してアメリカ航空宇宙学会やアメリカ航空宇宙局（NASA）の賞を相次いで受賞。
近年は科学上の論争がいかに生み出されるかに関心を持ち、共著 *Merchants of Doubt*（2010 年）では一部の科学者が地球温暖化などに関する事実を覆い隠そうとした過程を分析した。
ミネソタ大学にて科学技術史の博士号取得。

Merchants of Doubt: How a Handful of Scientists Obscured the Truth on Issues from Tobacco Smoke to Global Warming
By Naomi Oreskes and Erik M. Conway
情報・書評(英文)はこちら：http://www.bloomsburypress.com/books/catalog/merchants_of_doubt_hc_104

本講演会の参加には事前登録の必要はありません。当日直接会場へお越し下さい。
お問合せ：名古屋アメリカンセンター (TEL 052-581-8631)